

注意喚起情報

米づくり技術情報 No.12

令和6年7月8日

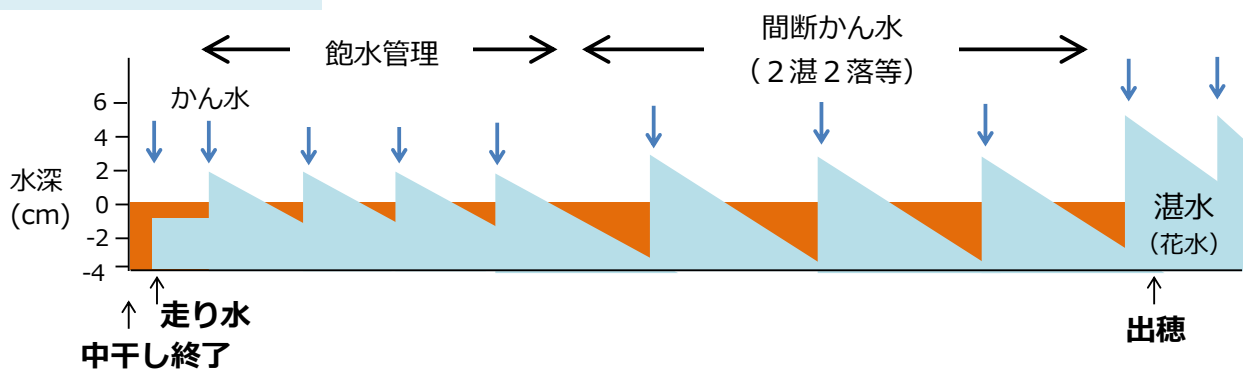
中干し後の「水のためっぱなし」は根へのダメージ大！ 「飽水管理」「間断かん水」で根の活力を維持しましょう！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

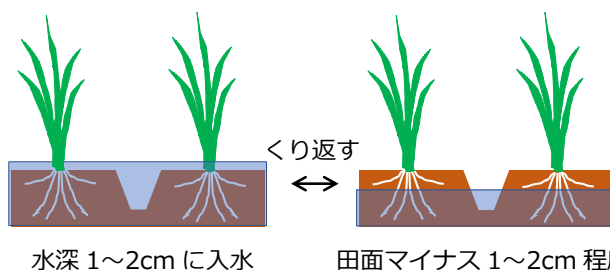
7月4日発表の1か月予報（7月6日～8月5日）及び3か月予報では、高温が続くと予想され、厳しい登熟条件になると見込まれます。適切な水管理を行って、今のうちに根をしっかりと張らせながら根の活力を維持し、高温に負けないイネをつくりましょう。

- ◎中干し終了後～出穂するまで、「飽水管理」「間断かん水」を徹底し、根をしっかりと張らせながら根の活力を維持しましょう（出穂期以降、根量は増えません）。
- ◎水のためっぱなしは致命傷！土壌の還元が進んで根へのダメージが大きくなります。
- ◎水管理を効率的かつ容易にするため、作溝を掘りましょう。

水管理のイメージ



【飽水管理のイメージ】



水深 1~2cm に入水

田面マイナス 1~2cm 程度に減水



飽水管理の様子

地表（田面）に水がないが、くぼみには溜まっていて、土壌が常に湿潤状態に保たれている

地域全体に用水が行き渡るように関係者でよく話し合い、限りある用水を効率的に利用しましょう。かけ流し厳禁！